



公益財団法人としま未来文化財団設立40周年記念事業

シンポジウム

鈴木信太郎の青春 フランス文学との出会い ～東京帝国大学在学中の受講ノートより～

日時

2025年12月6日(土)
13:00～15:50 (開場:12:30予定)

会場

南大塚地域文化創造館
第1会議室

【申込方法】**※申し込み開始日:10月15日(先着順、定員に達し次第締め切ります)**

●としま未来文化財団WEBサイト内情報ページの申込フォームに必要事項を入力し送信してください。

右記の二次元コードから申込フォームを表示できます。

●定員:50名

●お問い合わせ



南大塚地域文化創造館 TEL 03-3946-4301 (休館日を除く9:00～21:00)

〒170-0005 豊島区南大塚2-36-1

主催

公益財団法人としま未来文化財団
京都大学人文科学研究所附属人文情報学創新センター
豊島区立鈴木信太郎記念館

鈴木信太郎の青春 フランス文学との出会い ～東京帝国大学在学中の受講ノートより～

日本で本格的なフランス文学研究を確立した鈴木信太郎（1895-1970）は、大学在学中から亡くなるまで現在の東京都豊島区東池袋に居住していました。1916年に東京帝国大学に入学した信太郎は、その青春の日々、大学でどのような講義を受けて研究者としての素養を磨いたのでしょうか。今回のシンポジウムでは、信太郎の旧宅である鈴木信太郎記念館に所蔵されている信太郎の受講ノートを書き、大正期フランス文学受容の実像に迫ります。

プログラム

13:00～13:05	開会挨拶
13:05～13:10	趣旨説明 もりもと あつお 森本 淳生 京都大学人文学研究所 教授
13:10～13:30	フランス文学者鈴木信太郎と豊島区立鈴木信太郎記念館について おくむら けいこ 奥村 景子 豊島区立鈴木信太郎記念館 学芸研究員
13:30～13:50	報告① 鈴木信太郎とフランス・ロマン主義文学—講義ノート「文学史概説 III」をめぐって がくたに りょう 学谷 亮 中央大学文学部 准教授
13:50～14:10	報告② 日本美学史の観点から紐解く信太郎の受講ノート「最近歐州文芸史」 ふじぬき ゆう 藤貫 裕 京都大学大学院文学研究科 研究員
14:10～14:30	報告③ 鈴木信太郎と啓蒙の世紀—『ジャン=ジャック・ルソー』講義録ノートより すがわら ゆりえ 菅原 百合絵 京都大学人文科学研究所 准教授
14:30～14:45	休憩
14:45～15:45	パネルディスカッション
15:45～15:50	閉会挨拶

総合司会：森本 淳生 コメンテーター：大出 敦 慶應義塾大学法学部 教授

【図版】表面左上から：旧制第一高等学校2年時（19歳頃）の信太郎、講義ノート「最近歐州文芸史」表紙、1900年頃の東京帝国大学図書館閲覧室（写真帖『東京帝國大學』明治33年（1900）年版（東京大学総合図書館所蔵）を一部改変）、新築時（1928年）の信太郎の書斎、1956年の東京大学、東大での最終講義の日の信太郎（1956年）

会場案内

南大塚地域文化創造館

南大塚地域文化創造館

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-36-1

電話：03-3946-4301

●「東京メトロ 丸ノ内線 新大塚駅」
1番出口より徒歩8分

●「JR山手線 大塚駅」（南口）より徒歩5分

●「都電荒川線 大塚駅前」より徒歩5分

●都バス「大塚駅」停留所より徒歩5分（都02、上60）

